

令和4年度 学校評価 自己最終評価①

【評価】4:十分達成できている 3:概ね達成できている 2:やや不十分である 1:不十分である

		評価項目	成果と課題	評価	改善策
教務部	教科指導	(1) 学習習慣の確立	①学習意欲は個人差が大きく、生徒の学習活動は教員の主導によるところが大きい。学習指導に素直に取り組む生徒の雰囲気が定着してきているが、学期末の学習指導の対象者が増えた。 ②ここ数年の課題となっていた授業態度は年々改善している。授業態度に対する中間時の指導対象になる生徒も若干名であり、大多数の生徒が、積極的に取り組んでいる。 ③図書たよりや朝読書を通じて、読書への興味を高めるように取り組んでいる。 ④家庭学習を普段全く行わない生徒が減り、改善されている。入学時から2学年にかけて家庭学習が低下する傾向があるが、資格取得に向けての学習がある程度習慣化されている。	3	①自発的に学習に取り組むためには、学習の必要性を生徒自身が認識すること以外にはない。進路実現との関連性を意識させる具体的な方策(進路ガイダンスや教育相談など)をより充実させることが、長期的には学習活動への改善につながるといえる。 ②観点別評価の導入もあり、より積極的な学習態度を育む授業の構成等を教科等で検討する。 ③図書たよりや朝読書の期間を増やすなどして、読書への興味を高めるように取り組む。 ④資格取得を中心にして家庭学習の習慣づけをより意識させる。
		(2) 基礎学力の定着と向上	①入学時に義務教育学力の未定着者の割合は年々改善している。生徒の実態をふまえた授業の展開がなされているが、上位生徒への指導は個別にならざる得ない状況がある。考査後の訂正やレポート提出に対しては、学習内容の定着を図るうえで、全ての教科で重要視しており、粘り強く指導を行っている。 ②基礎学力の定着をみる「基礎力診断テスト」の分析を行い、職員全体への情報共有を図った。学び直し教材「マナトレ」は、ここ数年で取り組みの徹底を行った。 ③各教科・学科で生徒の学習状況の情報は共有できている。特に1年生には教科担任会を実施している。 ④生徒・職員のリクエストをきいて本を購入するなど、興味関心を高める取り組みをしている。	3	①今年度は徐々にICT機器を活用した授業を行う教科が増えており、今年度から取り組んでいる教員のICT研修を来年度も継続し、生徒にフィードバックする。 ②学力の分析だけにとどまっているので、基礎学力の定着を図る具体的な取り組みを検討する。また観点別評価で活用するためにも、個人の学力の推移を把握する必要がある。 ③教員同士の情報交換を充実させた上に、生徒へのフィードバックを行う。教育相談等を利用して、個々の学習状況への具体的なアドバイスをする。 ④昨年同様、生徒への読書の働きかけに加え、担任や教科担当にも図書館を利用していただく機会を増やしていく。

令和3年度 学校評価 自己最終評価②

【評価】4:十分達成できている 3:概ね達成できている 2:やや不十分である 1:不十分である

		評価項目	成果と課題	評価	改善策
生徒指導部	生徒指導	(3) 生徒との信頼関係の構築	生徒指導部の各係では毎週係会を実施し、生徒の情報交換や、生徒理解に努めている。気になる生徒は各係から担任団や学年主任、各科・コースと連携を取り対応してきた。生徒会活動に関しては、生徒が主体的に活動できている委員会と、そうでない委員会とがあり教師側がアドバイスする余地が十分あると考える。	3	生徒理解を深めるために、SHR時は担任団が全員教室に行って観察や情報交換をしている。2年前から教員個人の自主的な判断で徐々に定着してきた。強制するようなものではないが、今後も続けていける雰囲気を作りたい。 生徒会系の活動について、全職員への周知と協力依頼をもう少し強めたい。
		(4) 基本的生活習慣の確立と集団生活の規律遵守	全職員が一丸となって実践することで、基本的な生活習慣や頭髪服装の乱れはだいぶ少なくなっている。あいさつに関しても校内の至る所で元気なあいさつが聞こえてくる。課題としては中盤以降遅刻の件数が増えてきた。3年生の気の緩みや寒さ等が理由として考えられる。	3	頭髪服装規定などの校則の見直しは定期的に行う必要がある。生徒や保護者の意見を十分吸い上げられていないので、今後、生徒・職員・保護者の意見をとりまとめ、お互い納得できる環境で指導をしていきたい。 遅刻指導については2、3月に指導内容を工夫して試行的に実践してみたい。
		(5) 交通安全指導の徹底と事故・違反の未然防止	大きな事故は起きていない。小さな事故や違反等も件数が減少している。登校時の駐輪場での声かけなどでマナーの向上も図られていると思う。	3	改善すべきところはそれほどないと思うが、安全に関わる取り組みは、現状をしっかりと維持していくための引き継ぎが大事だと思う。怠らないようにしたい。
		(6) 保護者・地域との連携	生徒指導に関する学校からの案内やお願いは、紙媒体で生徒を通じて保護者に伝わっていると考えられる。ボランティアに関しては参加者が少なかった。	3	ボランティア活動を通して、工業高校の良さをもっと地域にアピールしたい。

令和4年度 学校評価 自己最終評価③

【評価】4:十分達成できている 3:概ね達成できている 2:やや不十分である 1:不十分である

		評価項目	成果と課題	評価	改善策
生徒指導部	生徒指導	(7) 不登校・いじめ問題への支援体制	教育相談係と学校適応委員会の活動が積極的で、生活交通係も協力しながら、担任団を支えている。不登校やいじめ問題に組織的に支援できている。	3	組織的な支援や情報交換はやりすぎて悪いことは一つもない。もっと充実させるべく改善すべきは改善する。倫理観や道徳観の醸成に繋がるような講演会を積極的に実施したい。
進路指導部	進路指導	(8) 進路意識の高揚	・進路指導室前に、学校説明会やオープンキャンパスや公務員の情報を掲示しながら、情報提供を行った。ただ、1、2年生に対しての進路活動が不足してしたように感じる。 ・進路指導部と3年担任団との連携もスムーズにでき、進路に関する話題を色々な場面で取り上げながら、三者面談や教育相談などで、個別指導の充実を図った。更に、情報発信に努めたい。	4	・生徒理解や進路指導に関するスキルを向上させる。 ・3年間を通して職業観を向上させるような指導を計画する。 ・進路情報をより共有化(電子化)できるようにする。
		(9) 職業観・勤労観の育成	・インターンシップについては実施できた。 ・学年別の合同LHRや1年生への職業意識の向上のため、ワークグループ、2・3年生対象の就職・進学合同説明会、3年生対象の面接指導ガイダンスなどを計画、実施した。3学期には、1・2年生を対象とした県内企業説明会、市内企業説明会を計画している。 ・昨年度就職した生徒の離職者が例年よりも多く対策を考えたいと思う。	4	・2学年と連携しながらインターンシップの協力をしていく。 ・ガイダンスの内容・回数・実施方法を綿密に検討する。 ・職業観や進路選択に対して、3年生になってからではなく、3年間を通して指導していけるようにする。
		(10) 進路実現	・3年担任を中心に全職員の協力をもらい、SPI・一般常識試験対策や面接指導を行った。特に就職を希望する生徒に対しては、進路指導部による評価面接を2回実施し、その際にも個別面談を行った。 ・今年度は県内・県外ともに職場訪問が実施でき、生徒の希望に応じて会社へ訪問し情報交換をすることができた。 ・就職対策協議への参加や職業安定所との連絡を取りながら、情報交換等を適宜行い、協力体制を整えている。	4	・SPI・一般常識試験対策をどのようにして学校として取り組むか検討する。 ・ここ数年の中では最大の求人数であり、生徒の求める企業とのマッチングのために、より適切な面談等が必要。 ・あまりにも多くの企業があるためどのように生徒や保護者に情報をわたすには工夫が必要と考えられる。

令和4年度 学校評価 自己最終評価④

【評価】4:十分達成できている 3:概ね達成できている 2:やや不十分である 1:不十分である

		評価項目	成果と課題	評価	改善策
保健部	保健指導	(11) 生徒の健康管理	①健康診断は日程変更もなく実施することができた。 受診率は昨年度とほぼ変わらず。 ②場面に応じたマスクの着用や手洗い、消毒、換気、検温などが日常の中で実践された。	3	①受診率の向上には、受診確認だけではなくHRや部活動での呼びかけによる効果があると思う。引き続き確認や呼びかけ行っていきたい。 ②SHRでの検温やチェックシートの記入など健康観察簿の充実をはかった。夏にコロナウイルスの罹患者が増えた時期や、インフルエンザの罹患者も出たが、学校内で感染拡大をすることもなかった。引き続き、感染対策を継続していきたい。
		(12) 生徒の体力づくり	①体育祭は日程を調整し10月に実施したが、職員・生徒の協力により無事に実施することができた。 ②スポーツに親しむ生徒が増えている。	4	①体育祭は今年度、10月に実施するなど日程等を含めさまざまな変更を行ったが、来年度も同じような状況が予想されるので、反省や課題を生かしていく。 ②多くの生徒が、さまざまなスポーツをルールを守り、周囲と協力して楽しむことができている。体力の向上にもつながっている。今後さらに維持、発展させていきたい。
		(13) 安心安全な環境づくり	①安全点検簿の準備を行い毎月行った。 ②避難訓練は全職員の協力ですムーズに行うことができた。	4	①安全点検後の取り組みを事務室ともっと連携していく必要がある。 ②昨年度同様に新型コロナの影響で、消防署から避難訓練の指導をもらえていないので、来年度以降状況をみてお願いしていきたい。
工業科	工業教育	(14) 教科指導の充実	①進路先の職務内容と、授業との関連を理解し、取り組むことができた。 ②専門の特性を生かし、知識・技術の充実が図られた。	3	早めの情報提供と進路先の研究をおこない、専門科目の知識の習得にむけて働きかける。
		(15) ものづくり教育	①実習等において、ものづくりへの興味・関心を引き出すことができた。 ②コンテストに参加する科は、継続的な指導や、技術の伝承がなされていた。	3	それぞれの科の特色をいかした教科を通じて、ものづくりに興味・関心を引き出す手当をおこなう。

令和4年度 学校評価 自己最終評価⑤

【評価】4:十分達成できている 3:概ね達成できている 2:やや不十分である 1:不十分である

		評価項目	成果と課題	評価	改善策
工業科	工業教育	(16) 資格取得への取り組み	①資格試験の情報提供を行い、朝・昼・放課後等に補習を行った。 ②進路先が漠然としているなかで、資格への興味や取り組みが薄くなってしまった。	3	年々資格取得者数が減ってきているので、今以上の手立てが必要である。
		(17) 各種行事への参加	①近くの学校などへの奉仕活動を通じて、つくる喜びを体現していた。 ②産業祭への参加で、物品販売や実習作品の展示などで好評を得ていた。	3	「体験入学」「親子ものづくり教室」「産業祭への参加」などの他に、地域との協力体制を強化していく必要がある。
関連分野	全般	(18) 社会に貢献する人材の育成	①教育活動全体を通して、概ね指導することができた。 ②ほとんどの生徒がよく取り組んでいたが、一部の生徒の遅刻が改善されなかったことが課題である。 ③出工タイムや補習・個別指導等で推進が図られたが、資格取得については、昨年度より少し減少している。今後合格率の向上を期待したい。	3	①全職員が協力して教育活動の推進に関わる。 ②遅刻指導の改善に取り組みたい。また、今後も全ての教育活動を通して継続した指導が必要である。 ③生徒が主体的に学習へ取り組むよう、指導を継続したい。
		(19) 教育環境の整備	①各学科や教科で実習室等の環境整備に努め、学習に適した環境づくりがなされている。 ②毎月の安全点検により適切な管理がなされている。 ③新型コロナウイルス感染症防止対策のため若干の制限はあったが、様々な学校行事を実施できた。	4	①今後更に環境整備に対する生徒の意識の向上を図り、習慣になるような環境づくりに努める。 ②安全教育のためにも継続した取組が必要である。 ③講話などの生徒が受け身になる行事も多かったので、発表などの生徒から発信する機会を増やす工夫が必要である。
		(20) 情報セキュリティポリシーの遵守	①適切に行われている。 ②適切に行われている。	4	①年度初めに文書管理の周知徹底と定期的な確認を行い、規定に基づく管理と保管及び廃棄を徹底する。 ②デジタルデータも含め、文書管理規定に基づく文書の保存・廃棄を徹底する。
		(21) 服務規律の確保と資質の向上	①職員会議や職員研修で、服務規律に関する校長指導等を実施し、更なる意識の向上に努めた。 ②毎月の出工コンプライアンスによる職員のセルフチェックを実施し、新聞記事を紹介しながら、服務規律の厳正確保について注意喚起を行ってきた。	4	①②今後も継続した研修や指導を定期的実施し、互いに自己研鑽する雰囲気をもっと作り上げていく。